

## 令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

|          |   |
|----------|---|
| P T A名   | 静岡県立沼津特別支援学校 P T A  |
| 学 校 名    | 静岡県立沼津特別支援学校<br><input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱 |
| 設 置 部    | <input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部                            |
| 全校児童・生徒数 | 252人  |

### 1. 使用状況

|               |   |
|---------------|---|
| 寄贈物品名         | ボッチャセット   |
| 使用学年及び人数      | 全校児童生徒(252人)  |
| 使用頻度          | 月1～2回程度   |
| 使用状況          | 保健体育(ニュースポーツを体験しよう)や、総合的な学習の時間(オリンピックパラリンピックを調べよう)の授業で調べたり、体験したりした。<br>また、余暇活動の時間に生徒が希望してボッチャのゲームを楽しんだ。   |
| 物品の使用による変化や効果 | ボッチャの体験を重ねることで、友達同士協力したり、応援したりしてゲームを楽しむ様子が見られた。<br>目標の近くにボールを投げる経験を行い、力を加減してボールを投げる様子や自分で工夫してボールを投げる様子が見られるようになった。<br>実際に体験したことのあるスポーツがパラリンピックでも行われていて「知っている」「やったことある」など、興味をもつことができた。 |
| 今後の活用の見通しや課題  | 今後も授業や余暇活動、交流活動でボッチャに取り組むことで、友達や交流相手と自然な関わりをもち、楽しめるようにしたい。<br>将来の趣味として楽しむ活動(生涯スポーツのひとつ)となるように引き続き、学校教育の中でボッチャに取り組んでいきたい。  |
| その他希望や所感など    |   |

## 2. 活用の様子



体育の授業「ニュースポーツを体験しよう」でボッチャを行った。

ゲームに取り組む中で、ルールが分かり、的になるボールを狙って投げたり、力を加減して投げたりしていた。



総合的な学習の時間「オリンピックパラリンピックを調べよう」では、ボッチャについて調べたり、体験したりした。

友達とやり取りをしながらゲームを楽しむ様子が見られるようになった。